

障害者の芸術文化を考える3日間

2018年2月9日、10日、11日大津プリンスホテルで実施する各事業のご案内



日本と中国のアール・ブリュット
「共融地点」



**「アール・ブリュット
国際フォーラム」**



平成29年度
厚生労働省
障害者芸術文化活動普及支援事業
実践報告会



パフォーマンスイベント
うみを越えたトリックスター／心と身体の学級

※写真は過去の展覧会、フォーラムの様子です。

日中から作者31名、アール・ブリュット作品が一堂に！

日本と中国のアール・ブリュット「共融地点」

アメリカ・フランス・タイ・中国・インドネシア・日本 6か国からの有識者が集まる

アールブリュット・国際フォーラム2018

障害者の芸術文化活動の裾野を広げるための
全国支援センター普及の取り組み

平成29年度厚生労働省 障害者芸術文化活動普及支援事業実践報告会

障害のあるパフォーマーたちによるダンス・身体表現

パフォーマンスイベント：心と身体の学級 うみを越えたトリックスター

《会期》2018年2月9日（金）～11日（日）

《会場》びわ湖大津プリンスホテル コンベンションホール淡海（滋賀県大津市におの浜4-7-7）

日本・中国から作者31名、アール・ブリュット作品が一堂に！

キュレーター公募企画展

「日本と中国のアール・ブリュット 共融地点」



「共融地点」は、日本・中国各地のアール・ブリュットを一堂に紹介する初の試みです。本展では、文化や環境を異にした作者による、表現の類似性と特有性に注目していきます。そして、日本と中国、主体と客体などが融け合うように展示します。背景は様々でありながらも通底して見える物語を感じてください。

日時 2018年2月9日（金）～11日（日）

（9日（金）・10日（土）9:00～21:00、11日（日）9:00～14:00）

会場 びわ湖大津プリンスホテル コンベンションホール淡海

観覧料 500円

※アメニティーフォーラム 22参加者は無料。

※中学生以下、障害のある方と付添者1名無料。

主催：アール・ブリュット魅力発信事業実行委員会

構成団体：ボーダレス・アートミュージアムNO-MA（社会福祉法人グロー [GLOW]）、滋賀県、滋賀県立近代美術館、近江八幡市、一般社団法人近江八幡観光物産協会、社会福祉法人愛成会、NPO法人はれたりくもったり、滋賀県施設・学校合同企画展実行委員会

協力：滋賀県立近江学園、クラフト工房 La Mano、信楽青年寮、西淡路希望の家、医療法人社団柏水会、平川病院〈造形教室〉、ふじ美の里、蛍の里、まつさかチャレンジドブレイス希望の園、ルンビニー園、黄葉、上海芸途公益基金会〈WABC〉、Tabula Rasa Gallery、長征空間 Long March Space、張天志、南京社区原生芸術工作室、北京天真者公益発展中心

助成：平成29年度文化庁 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業

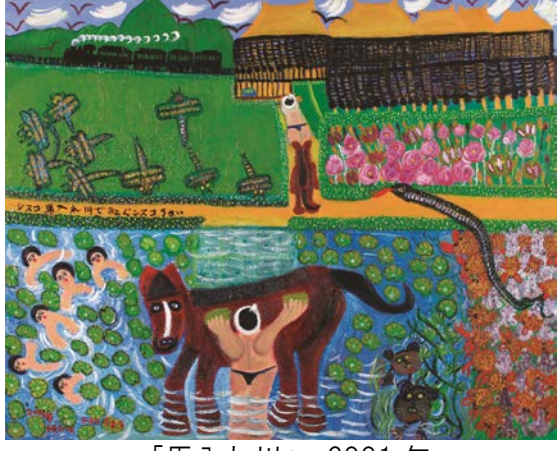

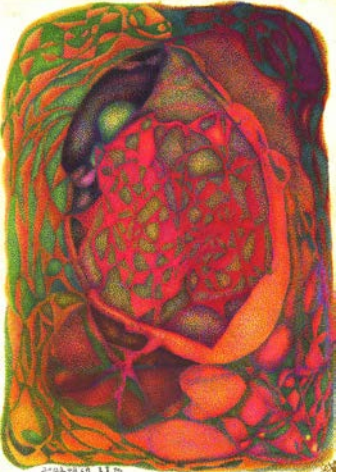

出展者：31名（日本の作者:16名、中国の作者:15名）

石原峯明、呉美飛（ウー・メイフェイ）、川上建次、草彌陵太、郭秀栄（グオ・シウロン）、郭鳳怡（グオ・フォンイー）、澤田真一、三毛（サンマオ）、小燕子（シャオイエズ）、健健（ジエンジエン）、陳宝桂（チェン・バオグイ）、喬雨龍（チャオ・ユーロン）、祝羽辰（チュ・ユーチェン）、土屋正彦、塔本シスコ、西之原清香、林田嶺一、巴子（バズ）、東本憲子、平野智之、藤野公一、舟橋慶、鳳英（フォンイン）、本上直、宮川隆、宮田英雄、楊伝鳴（ヤン・チュアンミン）、与那覇俊、李忠東（リ・チョンドン）、羅秀芳（ルオ・シウファン）、汪化（ワンファ）

【MOTTO! 共融地点】

日中のアール・ブリュットが一堂に会す共融地点。本展の作者の表現を、もっと(MOTTO!)深く知るため、会場では作者の創作を追体験できるワークショップを実施する他、関連書籍を自由に読むことのできるライブラリーコーナーを設置します。

【「日本と中国のアール・ブリュット 共融地点」 出展者 作品画像(抜粋)】

<p>羅秀芳(ルオ・シウファン)</p>  <p>「春天的集会」 2006年 ⑤</p>	<p>塔本シスコ</p>  <p>「馬入れ川」 2001年 撮影:塩田洋 ⑥</p>
<p>郭鳳怡(グオ・フォンイー)</p>  <p>「Meridian Chart of the Dantian 《人体中丹田経絡図》」 1989年 画像提供:長征空間 Long March Space ⑦</p>	<p>本城直</p>  <p>無題 2012年 ⑧</p>
<p>呉美飛(ウー・メイフェイ)</p>  <p>無題 2012年 ⑨</p>	<p>林田嶺一</p>  <p>「八幡港」 2014年 ⑩</p>

※アール・ブリュット(仏: Art Brut) 「生の芸術」という意味のフランス語。Artは芸術、Brutはワインなどが生(き)のままである様子を表す。正規の美術教育を受けていない人が自発的に生み出した、既存のモードに影響を受けていない絵画や造形などを指す。



2018年2月9日(金) 11日(日)
 http://www.no-ma.jp
 びわ湖大津プリンスホテルルンペンベンソンヨソホール 淡海
 アール・ブリュット国際フォーラム
 Art Brut International Forum
 2018
 障害者芸術文化活動普及支援事業

障害者の芸術文化について考える3日間
2.9 [2月9日(金)] **全国支援センター普及の取り組み**
 平成29年度厚生労働省障害者芸術文化活動普及支援事業実践報告会
2.10 [2月10日(土)] **6か国から実践者が登壇**
 アール・ブリュット国際フォーラム 2018
2.11 [2月11日(日)] **アール・ブリュットのこれからの展望**
 アール・ブリュットネットワークフォーラム2018
 ～つながるアール・ブリュット～

主催：アール・ブリュット魅力発信事業実行委員会 構成団体：アール・ブリュットミュージアムNO-MA (社会福祉法人グロー(GLOW))、滋賀県(障害者芸術文化活動支援センター)滋賀県障害者芸術文化活動支援センター、滋賀県立近代美術館、近江大学、一般社団法人近江大学美術部、社会福祉法人愛成会、NPO法人アール・ブリュット、滋賀県障害者芸術文化活動支援センター

障害者の芸術文化活動の裾野を広げるための全国支援センター普及の取り組み

2月9日(金)

「平成29年度厚生労働省障害者芸術文化活動普及支援事業実践報告会」

平成26～28年度に実施された「障害者の芸術活動支援モデル事業」では、全国12か所で、障害のある作者やその家族、障害のある人たちの造形活動を支援する人たちを支える様々なプログラムが実施されました。それらの積み上げられたノウハウを全国に普及していくことを目的として、今年度は22都道府県(23団体)で「障害者芸術文化活動普及支援事業」が行われています。本実践報告会では、47都道府県での実施に向けた現状と課題、展望について厚生労働省の担当官を迎え、事業の普及を担う実施団体とともに議論します。

プログラム

13:15～13:40 【事業説明】

「障害者芸術文化活動普及支援事業」について

大塚千枝(厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 企画課自立支援振興室
障害者芸術文化活動支援専門官)

13:45～15:15 【実践報告、ディスカッション】

「障害者芸術文化活動支援センターの普及の実際」

社会福祉法人ゆうゆう(北海道・北東北ブロック)

社会福祉法人愛成会(南関東・甲信ブロック)

社会福祉法人みんなでいきる(東海・北陸ブロック)

社会福祉法人グロー(全国連携事務局〔美術〕)

社会福祉法人大阪障害者自立支援協会(ビッグ・アイ)(全国連携事務局〔舞台芸術〕)

厚生労働省

参加費無料

主催：社会福祉法人グロー(GLOW)

助成：平成29年度 厚生労働省 障害者芸術文化活動普及支援事業

アメリカ、フランス、タイ、中国、インドネシア、日本 6か国からの有識者が集まる 2月10日(土) 「アール・ブリュット国際フォーラム2018」

今年も日本国内外において障害者の芸術文化に関する取組が数多く展開されました。「2017 ジャパン×ナントプロジェクト」もその一つです。文化芸術創造都市であるフランス・ナント市において日本の障害者の芸術文化はどのように受け止められたのでしょうか。また、他国の実践を聞くことで、その固有性や共通性を探ってみてみたいと思います。

プログラム

9:30~10:00

「共融地点」における日本と中国のアール・ブリュット
石岡亜希子（「共融地点」展キュレーター）

10:00~10:55 特別報告1 中国 北京

中国“素”アートの現状

サミー・イーユエン・リウ（Tabula Rasa Gallery ディレクター）

10:55~11:50 特別報告2 タイ バンコク

Art Brut in Thailand and Japan を開催して

ロザリーナ・アレキサンダー（The Rainbow Room Foundation 代表）

12:45~13:40 特別報告3 インドネシア ジャカルタ

自閉スペクトラム症者のアトリエ活動について

ティモティウス・スワルシト（アートアドバイザー／セラピスト）

助成：独立行政法人国際交流基金アジアセンター

13:40~14:35 特別報告4 アメリカ ミシガン州

ディスアートの芸術活動と日本でのプロジェクトについて

ジル・ヴィン（ディスアート共同設立者・共同エグゼクティブディレクター／医療ソーシャルワーカー）

14:40~15:55

福祉的視点と障害者の芸術作品市場

登壇者

太下義之（三菱UFJリサーチ&コンサルティング 芸術・文化政策センター主席研究員・センター長
／独立行政法人国立美術館理事）

田中太郎（大阪府福祉部障がい福祉室自立支援課）

熊本豊敏（一般社団法人障がい者アート協会 代表理事）

聞き手：木元聖奈社会福祉法人グロー（GLOW）

16:00~17:15

2017 ジャパン×ナント プロジェクト 日本のアール・ブリュット 「KOMOREBI」展の評価について

登壇者

パトリック・ギゲール（フランス国立現代美術センター リュー・ユニック館長）

保坂健二郎（東京国立近代美術館 主任研究員）

通訳あり 同時通訳機器貸出料金：500円（アメニティーフォーラム参加者は無料）

主催：アール・ブリュット魅力発信事業実行委員会

助成：平成29年度文化庁 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業

独立行政法人国際交流基金アジアセンター（プログラム：特別報告3）



アール・ブリュットのこれからの展望**2月11日(日)****アール・ブリュットネットワークフォーラム2018 ～つながるアール・ブリュット～****プログラム****9:00～10:30 開会セッション**

「オリンピック・パラリンピック文化プログラムについて

～2017 ジャパン×ナント プロジェクトの軌跡～」

青柳正規（アール・ブリュットネットワーク会長、前文化庁長官）

ポール・ビヨドー（ナント国際会議センターシテ・デ・コングレ 前館長）

野澤和弘（毎日新聞論説委員）

三日月大造（滋賀県知事）

松野哲（北海道岩見沢市長）

10:35～11:15 セッション1

「日本のアール・ブリュット『KOMOREBI』展について」

田湯ひろみ（KOMOREBI展 出展者の家族）

平野智之（KOMOREBI展 出展者）

朝比奈益代（クラフト工房 LaMano、KOMOREBI展 出展者の支援者）

聞き手：小林瑞恵（KOMOREBI展 日本側キュレーター、社会福祉法人愛成会 副理事長）

11:15～12:00 セッション2

「障害者がつなぐ国際交流～ミシガンからの報告～」

クリストファー・スミット（ディスアート 代表）

上山輝幸（滋賀県観光交流局国際室長）

12:00～13:15 セッション3

「美術館とアール・ブリュット」

村上哲（熊本県立美術館学芸課長）

盛本直美（岩手県立美術館主任専門学芸員）

山崎利行（東京都生活文化局文化振興部事業計画担当課長）

聞き手：田平麻子（滋賀県立近代美術館主任学芸員）

オブザーバー：青柳正規（アール・ブリュットネットワーク会長、前文化庁長官山梨県立美術館館長）

14:15～15:45 アール・ブリュットネットワーク会員交流会

参加費無料

主催：アール・ブリュットネットワーク（事務局：滋賀県、社会福祉法人グロー（GLOW））

アール・ブリュットネットワークフォーラム2018に関するお問い合わせ事務局：

滋賀県県民生活部文化振興課

TEL：077-528-3340 E-mail：binoshiga@pref.shiga.lg.jp

障害のあるパフォーマーたちによるダンス・身体表現



心と身体の学級 15:30-17:30
 参加無料(要予約)
 障害者舞踊教育のパイオニア
 舞踏家・中嶋夏によるワークショップ&トーク

パフォーマンス
同日開催
 イベント二本立て

うみを越えたトリックスター 17:40-19:00
 参加無料(予約不要)
 フランス・ナントで大絶賛を受けた
 ダンスパフォーマンス

日時 平成30年2月9日(金) 会場 びわ湖大津プリンスホテル
 コンベンションホール淡海

障害のある人の参加する舞台芸術表現を、ワークショップ、公演、トークなどさまざまな角度から一度にご覧いただける機会となっております。

プログラム

2月9日(金) 15:30-17:30

障害者舞踊教育のパイオニア、舞踏家・中嶋夏によるワークショップ&トーク

「心と身体の学級」

トーク 田口ランディ(作家)×中嶋夏

舞踏家・中嶋夏は90年代より、知的障害のある方をはじめとしたメンバーとともに、身体表現を通じて、からだ・こころと向き合う取り組みを続けてきました。障害者舞踊教育のパイオニアと呼べるその活動は、国内のみならず海外でも開催されています。

今回、滋賀県で開催されるワークショップでは、通常の見学に加え、作家の田口ランディを迎えたトークも同時に開催します。

講師：中嶋夏(舞踏家/舞踏集団「霧笛舎」)

主宰/「心と身体の学級」主宰/障害者舞踊教育)

※障害の有無にかかわらず、どなたでもご参加いただけます。(要予約)

中嶋夏プロフィール

土方巽、大野一雄に師事。暗黒舞踏創立に関わる。1969年舞踏集団「霧笛舎」創立。1983年のロンドン国際演劇祭を皮切りに、エジンバラ芸術祭、イスラエル・フェスティバル、ロサンゼルス芸術祭など、世界有数のフェスティバルに参加。



1989年よりニューヨーク市立大学舞踊科、アメリカ・ニューヨーク・ラヴァン研究所、デンマーク・コペンハーゲン DANCE HUS など各国舞踊研究所にて舞踊教授、および振付、演出家として活動。1990年カナダ・フェスティバル振付第一位受賞。1991年全米パフォーマンス見本市年間特別アーティスト賞受賞。1992年より知的障害者のダンス教育に関わり、1993年「心と身体の学級」を設立。主宰を務める。



2月9日(金) 17:40-19:00

2017年フランス・ナントで大絶賛を受けた「湖南ダンスワークショップ」のダンスパフォーマンス 「うみを越えたトリックスター」

2017年に開催された「ジャパン×ナントプロジェクト」に参加し、フランス・ナント市での海外公演を成功させた「湖南ダンスワークショップ」によるダンスパフォーマンス！プロのミュージシャン達とコラボレーションし、ナントで絶賛の嵐を巻き起こしたその魅力を皆様にお届けします。

さらに終演後は「糸賀一雄記念賞音楽祭」で総合プロデューサーを務める小室等さんも交えたアフター・トークを開催します！

ダンス：湖南ダンスワークショップ、
北村成美(ダンサー／振付家)
音楽：坂田明(サクソ奏者)、谷川賢作(ピアニスト)、
高良久美子(パーカッション奏者)、
吉田隆一(バトンスクソ奏者)

アフター・トーク

小室等

(ミュージシャン／糸賀一雄記念賞音楽祭 プロデューサー)、
坂田明(サクソ奏者)、北村成美(ダンサー／振付家)ほか



参加費無料

主催：社会福祉法人グロー(GLOW)

助成：平成29年度 文化庁文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業
(先進的文化芸術創造活用拠点形成事業)

同時開催情報

【小室等 プロテストソング 2】

日程：2018年2月10日(日) 20:30～

会場：びわ湖大津プリンスホテル コンベンションホール 淡海 10

出演：小室等(Vo, A. Guitar)、坂田明(A. Sax, Clarinet)、谷川俊作(Piano)、
竹田由美子(Accordions)、吉田隆一(B. Sax)、
高良久美子(Percussion)、こむろゆい(Vo, Ukulele)

ゲスト：きたやまおさむ(作詞家)



【アメニティーフォーラム 22】

障害のある人のより豊かな地域生活を推進していくための全国的なネットワークを作ることを目的に毎年行われ、全国から1,500人を超える人たちが参加されます。また同時開催でアール・ブリュットの展覧会やバリアフリー映画祭も開催され、地域からも多くの参加者を迎えています。

日程：2018年2月9日(金)～2月11日(日)

会場：びわ湖大津プリンスホテル

主催：アメニティーフォーラム実行委員会、NPO法人全国地域生活支援ネットワーク

共催：社会福祉法人グロー(GLOW)

※ 参加申込等は、専用ブログ、または事務局まで

<http://amenity-forum-shiga.blogspot.jp/>

TEL:0748-75-8210(アメニティーフォーラム実行委員会事務局)

キュレーター公募企画展「日本と中国のアール・ブリュット 共融地点」

アール・ブリュット国際フォーラム 2018、心と身体の学級、うみを越えたトリックスター

広報用画像申込書

 社会福祉法人グロー 法人本部企画事業部（ボーダレス・アートミュージアムNO-MA）広報宛
 FAX : 0748-46-8228

広報用素材として、過去の開催画像、出展作品画像を用意しております。

ご希望の際は下記申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX又はメールにてお申し込みください。

なお、写真の使用に際し、以下の点をご確認ください。

- ① キャプションは、下記に記載されている作家名、作品名、制作年、コピーライトを表記ください。
- ② 作品画像につきましては、トリミング、文字載せはお控えください。
- ③ 本展記事をご紹介頂く場合には、恐れ入りますが情報確認の為の校正、掲載誌（紙）、DVD、CD等をお送り下さい。

媒体名：『 _____ 』

 種別： TV ラジオ 新聞 雑誌 フリーペーパー
 ネット媒体 携帯媒体 その他 発売・放送予定日：

御社名： _____ ご担当者名： _____

 Eメールアドレス： _____ @ _____
 (〒 _____)

ご住所： _____

お電話番号： _____ FAX： _____

ご希望の図版番号に✓をおつけください。

<input type="checkbox"/> ①2017 展覧会風景  撮影：大西暢夫	<input type="checkbox"/> ②2017 フォーラム風景  撮影：大西暢夫	<input type="checkbox"/> ③2017 実践報告会風景  撮影：大西暢夫	<input type="checkbox"/> ④過去のパフォーマンス風景  撮影：大西暢夫
<input type="checkbox"/> ⑤羅秀芳 (ルオ・シウファン) 「春天的集会」2006年 	<input type="checkbox"/> ⑥塔本シスコ 「馬入れ川」2001年  撮影：塩田洋	<input type="checkbox"/> ⑦郭鳳怡 (グオ・フォンイー) 「Meridian Chart of the Dantian «人体中丹田経絡図» 1989年 画像提供： 長征空間 Long March Space	<input type="checkbox"/> ⑧本城直 無題 2012年 
<input type="checkbox"/> ⑨呉美飛 (ウー・メイフェイ) 無題 2012年 	<input type="checkbox"/> ⑩林田嶺一 「八幡港」2014年 	<input type="checkbox"/> ⑪心と身体の学級 	<input type="checkbox"/> ⑫湖南ダンスワークショップ  撮影：大西暢夫

【問い合わせ / 掲載用写真貸出・取材】

 社会福祉法人グロー 法人本部企画事業部（ボーダレス・アートミュージアムNO-MA）
 担当：山田・鈴木・松井 〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 4837 番地の 2
 TEL : 0748-46-8100 FAX : 0748-46-8228 Mail : kikaku@glow.or.jp